



どっちが外来生物？
答えは特別展会場にて！

写真提供 1:西元里美氏、2:浦野信孝氏、3:(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所



大阪市立 東洋陶磁美術館 *Iridescent Tenmoku*

作者のジャン・ジレル (Jean Girel, 1947-) 氏は、フランスで唯一の陶芸の人間国宝 (メートル・ダール) に認定されているフランスを代表する陶芸家です。本作は「Iridescent Tenmoku」、すなわち「虹色 (玉虫色) の天目」と名づけられており、茶碗の外内には黒釉に木目状の斑文が表れ、さらに全体に青や紫などの美しい光彩のグラデーションが生じています。若き頃、中国宋時代のやきものに魅せられたジレル氏は40年以上にわたり独自の天目を探求し、東洋の伝統と西洋の技術・感性が見事に融和した新たな天目を生み出しました。今回、初公開となります。

大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理 小林 仁

特集展:「現代の天目—伝統と創造」※今回紹介した作品は、4月25日~8月16日まで同特集展にてご覧いただけます。
同時開催: 特別展「天目—中国黒釉の美」/ コレクション展「安宅コレクション中国陶磁・韓国陶磁、李秉昌コレクション韓国陶磁、日本陶磁、沖正一郎コレクション鼻煙壺」



ジャン・ジレル作
「Iridescent Tenmoku」2016年
大阪市立東洋陶磁美術館
(Ngiam Thong Kin 氏寄贈)

住所 〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 **TEL** 06-6223-0055 **FAX** 06-6223-0057 **ホームページ** <http://www.moco.or.jp>
アクセス 京阪中之島線「なにわ橋駅」1号出口すぐ/大阪メトロ・京阪本線「淀屋橋駅」1号出口、「北浜駅」26号出口各駅から約400m

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://ocm.osaka>

- 大阪歴史博物館
- 大阪城天守閣
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪市立美術館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪市文化財協会
- 大阪市立科学館
- 天王寺動物園
- 大阪中之島美術館準備室
- 大阪くらしの今昔館